

SIDS対策
強化月間

11月は「乳幼児突然死症候群(SIDS)」 対策強化月間です!

● 乳幼児突然死症候群 (SIDS) とは? ●

乳幼児突然死症候群 (SIDS: Sudden Infant Death Syndrome) は、それまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく眠っている間に突然死亡してしまう病気です。

生後2ヵ月から6ヵ月に多く、まれに1歳以上でも発症することがあります。

対策強化月間を開始した平成11年度以降、この病気で亡くなる赤ちゃんの人数は半数以下に減少しているものの、平成24年には全国で141人の赤ちゃんが亡くなっており、乳児(0歳)の死亡原因の第3位となっています。

● SIDSから赤ちゃんを守るためのポイント ●

SIDSの発症原因は、まだ分かっていません。しかし、以下の3つのポイントを守ることで、発症の可能性を小さくできることがこれまでの研究で明らかになっています。



1 うつぶせ寝は避ける

あおむけ寝に比べてうつぶせ寝は、SIDSの発症率が高いという研究結果が出ています。医学上の理由で必要なとき以外は、赤ちゃんの顔が見えるあおむけに寝かせるようにしましょう。

また、赤ちゃんをなるべく1人にしないことや、寝かせ方に対する配慮をすることは、窒息や誤飲、けがなどの事故を未然に防ぐことにもなります。



2 たばこはやめる

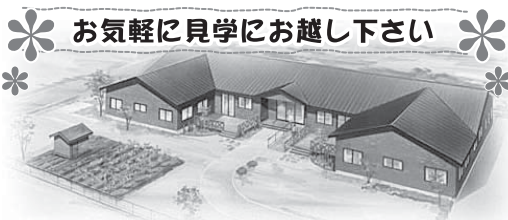
両親が喫煙する場合、両親が喫煙しない場合より、SIDSの発症率が高くなるというデータがあります。妊婦自身が禁煙することはもちろん、妊婦や赤ちゃんのそばでの喫煙も避けるよう、身近な人の協力が必要です。



3 できるだけ母乳で育てる

母乳で育てられている赤ちゃんは、人工乳の赤ちゃんと比べてSIDSの発症率が低いといわれています。人工乳がSIDSを引き起こすわけではありませんが、できるだけ母乳で育てるようにしましょう。

SIDSは、12月以降、これからの寒い季節に発生しやすいといわれ、特に注意が必要です。SIDSから赤ちゃんを守るため、お母さんやお父さんだけでなく、赤ちゃんの身近にいるすべての人が、SIDSについての理解を深め、SIDSを防ぐ取組に協力することが大切です。



お気軽に見学にお越し下さい

医療法人 福島会

「ゆ」っくり「た」のしく「か」そくのように 豊かな生活がテーマです



グループホームあさひ

三重郡朝日町小向2064-1

☎059-376-3300

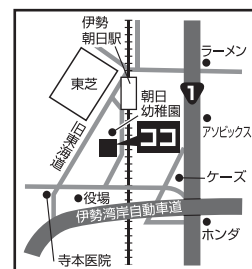
*家庭的で温かい暮らしがあります

*地域の方との楽しい
交流イベントを開いております

*認知症についてのご相談を
受付けております

ふくじまだより 検索

日々の様々をブログにて公開中!



有料広告掲載欄